



里海体験ツアー～山田海岸版～ 開催しました！

- 日 時：2021年10月30日（土）9:30～12:00
- 会 場：山田海岸（東かがわ市馬篠 1527）
- 講 師：里海ガイド養成講座（応用）修了生（戸井 裕孝 氏、熊野 雄太 氏）

◆実施内容

かがわ「里海」づくり海辺のおでかけマップにも掲載されている山田海岸の磯場をフィールドとして、磯の生き物の観察や生き物の特徴を知るプチ実験を盛り込んだ里海体験ツアーを実施しました。

（1）磯の生き物観察

最初にガイドから山田海岸のことや磯ってどのような場所なのか、磯の生き物を観察する時の注意点を説明した後、海へ出て行きました。

はじめて山田海岸を訪れた参加者も多く、ワクワクしながら浜辺を歩いて観察場所へ向かいました。水辺で活動する時に役立つアイテムの1つ、ライフジャケットを着用してから磯の活動はスタート。

ガイドから生き物が隠れている場所や捕まえ方について説明があった後、生き物の写真と名前が書かれたシートを片手に見比べながら生き物を捕まえていきました。

生き物が石の間に隠れていたり、生き物が岩の色に似ていたりするので、最初は見つけるのに苦労していましたが、目が慣れてコツをつかむと次から次に捕まえていました。

捕まえた生き物は、カメノテ、スガイ、ヒザラガイ、タマキビ、イシダタミ、ムラサキウニ、バフンウニ、クモヒトデ、マダコ、タデジマイソギンチャクなど20種類以上見る事ができました。

中でも、ウニやマダコは人気の生き物で、参加者は恐る恐るではあるが触ってその感触を楽しんでいたようです。



オリエンテーション



ライフジャケットを着用して海へ



写真と見比べながら観察



夢中で観察



バフンウニ、サザエ



タコもいたよ

(2) 生き物や海でプチ実験

さらに、生き物を楽しみながらその特徴も知ってもらおうとプチ実験をしました。潮間帯上部にいるタマキビは水が苦手なので、高い場所（海の水から離れた場所）にいるのを確認した後、海水を入れたケースの中にタマキビを入れておくと、あっという間に海水から出てケースの高い所へ移動するのを確認できました。

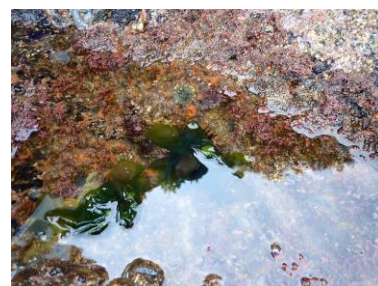
また、ウニは棘の長さは場所によって異なり、短い「ハゲ」ている部分を隠すように岩の隙間に隠れる特徴があります。実際に「ハゲ」部分を隠すのか tide プールの中に置いて動きを観察しました。すると、参加者の想像以上に棘を動かすことや棘を使いながら動いたことに見たいとは驚いていました。



水が嫌いなタマキビ



ウニが動く



ウニのハゲ隠し

(2) 振り返り

観察を終えた後は、やさしく生き物を海に帰してあげました。その後、参加者から感想を聞くと「多くの生き物がいるのを知った」「タコがいたのにびっくりした」「生き物を捕まえるのが楽しかった」などの意見がありました。



生き物を海に返す様子



振り返りの様子